

学校評価のねらい

- (1)すべての教職員が、学校評価は教育課程を通じて学校教育目標の実現を図るというカリキュラム・マネジメントの重要な要素であるという認識をもつ。
- (2)各種調査や保護者アンケート等の指標を活用し、客観的に自己評価を行い、よりよい学校学級づくりに生かす。
- (3)学校評価を公表することで、学校・家庭・地域が子どもの教育課題を共通理解し、協力・連携を深めながら、地域ぐるみで子どもの教育に取り組み、学校支援の輪を広げる。

評価の検討と実施		学校運営協議会 学校評議員の会	公表の時期と方法
中間評価	4	前年度の学校評価を基に学校教育計画及び学級経営方針の作成	学校だよりにて教育方針の発信
	5	学校評価①の実施に向けた計画、立案、評価項目の検討	
	6	学校教育方針の説明	学校評価について発信 (学校だより、HPにて)
	7	保護者アンケート①の実施 児童アンケート①の実施 教職員自己評価①の実施	
	8	アンケートの集計と評価結果の分析 自己評価結果の分析 改善策及び今後の方針の検討	
	9	外部評価（地域）①の実施 学校評価①の結果と分析についての説明及び意見聴取 (学校運営協議会にて)	
	10		第1回学校評価の結果、改善策など公表（学校だより臨時号、HPにて）
	11	学校評価②の実施に向けた計画、立案、評価項目の検討	
	12	保護者アンケート②の実施 児童アンケート②の実施 教職員自己評価②の実施	
	1	アンケートの集計と評価結果の分析 自己評価結果の分析 学校評価①との比較、改善策及び今後の方針の検討	
	2	外部評価（地域）2の実施 学校評価②の結果と分析についての説明及び次年度に向けての意見聴取（学校運営協議会にて）	
	3	次年度の方針の検討	次年度の方針の説明 第2回学校評価の結果、改善策など公表（学校だより臨時号、HPにて）
年間評価			